

数学科 1 年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正の数・負の数 1章	4月～6月下旬	正の数と負の数の必要性和意味を理解し、四則計算をすることができる。	正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	正の数と負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
文字の式 2章	6月下旬～7月中旬	文字を用いることの必要性和意味を理解し、文字を用いて四則計算をしたり、法則を表したりすることができる。	文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
方程式 3章	7月中旬～9月	1元1次方程式の必要性和意味を理解できる。 簡単な1元1次方程式を解くことができる。	1元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
変化と対応 4章	10月～11月中旬	関数、比例、反比例、座標の意味を理解できる。 比例反比例を表、式、グラフに表すことができる。	比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
平面図形 5章	11月中旬～12月	基本的な作図の方法を理解できる。 平行、対象、回転の移動を理解できる。	平面図形について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	基本的な作図や図形の移動を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
空間図形 6章	1月～2月中旬	空間における直線や平面の位置関係を知ることができる。 様々な図形の長さや面積、体積を求めることができる。	空間図形について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
データの活用 7章	2月中旬～3月	ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解できる。 コンピュータなどを使ってデータを表やグラフに整理することができる。	データの分布について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	ヒストグラムや相対度数などを活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。
具体的な評価の方法		・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物	・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物	・授業中の発言・レポート等の提出物